

東奥日報

2025年(令和7年)5月21日(水曜日) (15)

「特定技能」取得へ10人決意

ミャンマーから八工大に入校

船崎学長（前列中央）と
記念撮影する入校生たちハ
戸

八戸工業大学は16日、

「外国人特定技能エンジニアプログラム」の建設分野と自動車整備分野の入校式を同大で行った。人手不足の分野でエンジニアとして活躍するため、ミャンマーから来日した20～30代の10人は「特定技能1号」の在留資格が取得できる技能評価試験合格を目指し、9月まで勉学に励む。

同プログラムは労働力不足に悩む地域企業の課題解決の一助にと、昨年度からスタートした。入校生のうち4人が建設分野、6人が自動車整備

分野を受講。特定技能1号の評価試験合格を経て、10月から八戸市や六ヶ所村など県内企業での就労を予定している。

10人は4月に来日予定だったが、3月に発生したミャンマーの大地震の影響で入国が遅れ、今月の大型連休明けに全員が同大にそろったという。

入校式で船崎健一学長は「皆さんが充実した日々を過ごし、夢や目的が達成されることを願う」とあいさつ。入校生を代表し、リンゾウカインさん(24)は「自動車整備分野Ⅱが「自動車部品や整備に関する日本語をしっかりと覚えたい。これから毎日少しずつ努力して成長していきたい」と決意を述べた。(千葉真由美)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」